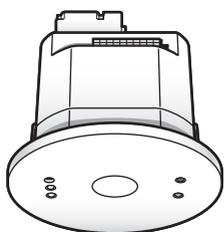


取扱説明書

通信補助器

品番：NK23071（埋込）
NK23081（直付）



NK23071（埋込）



NK23081（直付）

もくじ

安全上のご注意 2
 使用上のご注意 2
 各部の名前とはたらき 3
 システム構成と組合せ一覧 4
 設定手順と設定内容の説明 5

該当の組合せページへ

設定詳細（組合せA） 6～7
  
PiPit ハンディライコン (NK23041)
設定詳細（組合せB） 8～9
  
PiPit+ ハンディライコン (NK23091)
設定詳細（組合せC） 10～11
  
PiPit+ ハンディライコン (NK23091)

通信補助器のアドレスを確認する 12
 通信補助器のペアリングを解除する 12
 困ったとき 13
 よくある質問 13～14
 お手入れについて 15
 安全点検について 15
 仕様 16

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 ●ご使用前に「安全上のご注意」（2ページ）を必ずお読みください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様へお渡しください。
 ◎上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告



分解禁止

- 絶対に分解したり修理・改造は行わない
感電や故障の原因となります。



必ず守る

- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が生じた場合は、すぐに電源を切る
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。ただちに、お買い上げの販売店
・工事店にご相談ください。

注意

- 通信補助器には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度 35℃、1 日 10 時間使用です。

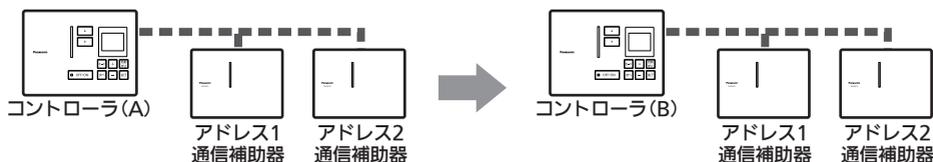
点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

1 年に 1 回は「安全チェックシート」(15 ページ参照)に基づき自主点検を行ってください。

3 年に 1 回は工事店などの専門家による点検をお受けください。

使用上のご注意

- 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 通信補助器はPiPitシリーズの各種コントローラからの電波を照明器具に中継します。
最初にどのコントローラの電波を受信するかのパ어링設定を必ず行ってください。
- コントローラが複数台近くに設置されている場合、複数台同時にパ어링設定を行わないでください。
通信補助器が意図しないコントローラとパ어링される場合があります。

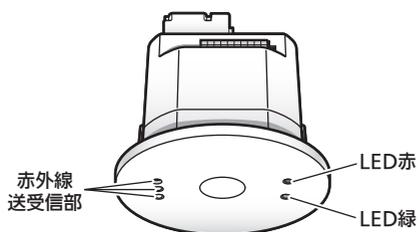


コントローラ(A)とのパ어링設定を完了させ、コントローラ(B)とのパ어링設定を行う

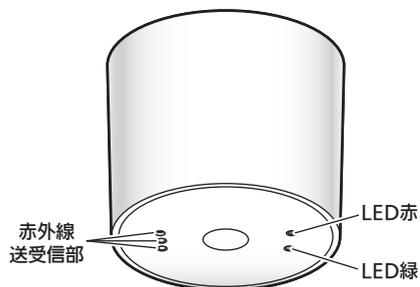
- 停電などで電源が切れても既に設定した内容は消えません。電源が入ると、停電前の状態に戻ります。
- 人命および社会的に重大な影響を与えることが予測される用途には使用しないでください。
- 通信補助器が電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。
- 送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため照明器具と本器は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。

各部の名前とはたらき

■ NK23071 (埋込)



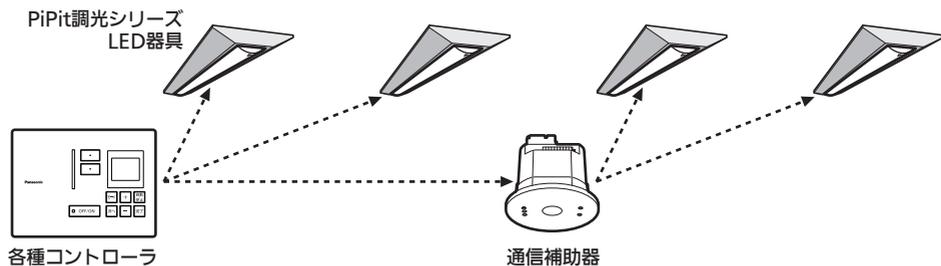
■ NK23081 (直付)



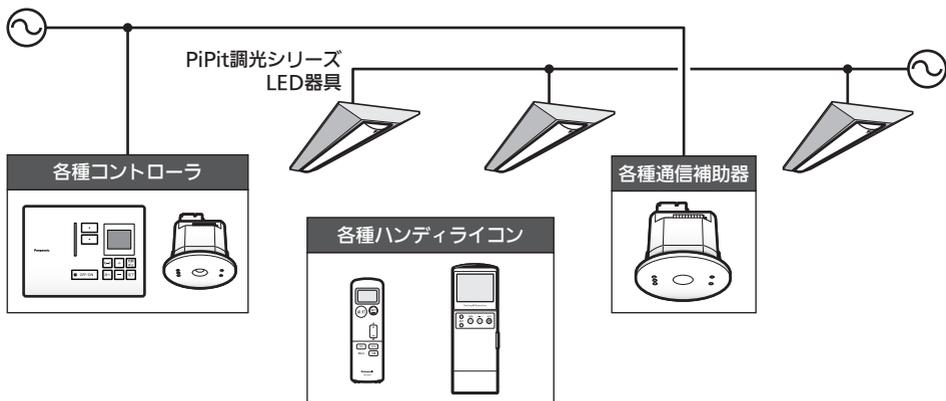
※NK23071 (埋込) とNK23081 (直付) では施工方法が異なります。施工説明書を参考に施工してください。

通信補助器の機能

各種コントローラからの電波を中継し照明器具に送信します。



システム構成と組合せ一覧



	タイプ	品名	品番
各種コントローラ	壁付け	PiPitライコン	NQ23111
		PiPitライコン スケジュール機能付	NQ23112
		PiPit+ライコン デマンド運動機能付	NQ23151
	天井付け	PiPit+セバレートセルコンAタイプ	NQ23171Z
		PiPit+セバレートセルコンAタイプ (直付)	NQ23185K
各種通信補助器	壁付け	通信補助器	NK23010
	天井付け	通信補助器 (埋込)	NK23071
		通信補助器 (直付)	NK23081
各種ハンディライコン	-	PiPitハンディライコン	NK23041
		PiPit+ハンディライコン	NK23091

※組合せにより設定方法が変わります。必ず、以下の該当ページを参照して設定してください。

組合せA 設定詳細：P5・P6～P7参照

+
 +

PiPit
ハンディライコン
(NK23041)

コントローラ
(壁付け)

通信
補助器
(本器)

組合せB 設定詳細：P5・P8～P9参照

+
 +

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)

コントローラ
(壁付け)

通信
補助器
(本器)

組合せC 設定詳細：P5・P10～P11参照

+
 +

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)

コントローラ
(天井付け)

通信
補助器
(本器)

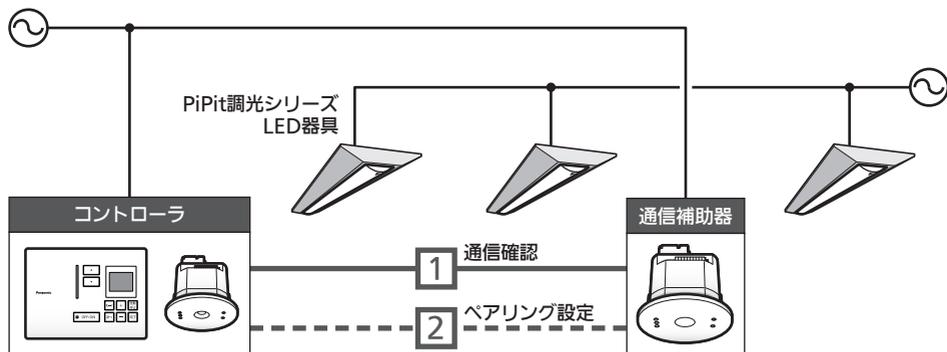
この組合せでの設定はできません

+
 +

PiPit
ハンディライコン
(NK23041)

コントローラ
(天井付け)

通信
補助器
(本器)

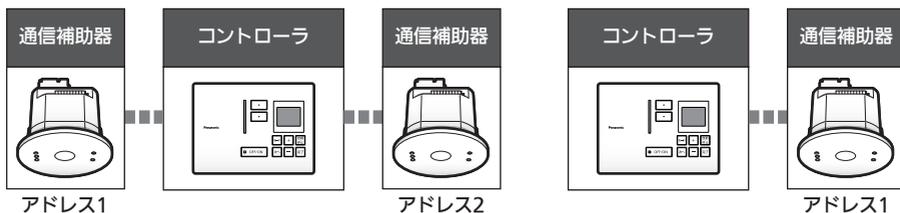


1 コントローラと通信補助器の通信確認

通信補助器はコントローラからの電波を中継し照明器具に送信します。
正常に電波を中継できるかコントローラと通信補助器の通信確認を行ってください。

2 コントローラと通信補助器のペアリング設定

どのコントローラの電波をどの通信補助器が中継するかを設定します。
コントローラと照明器具のペアリング設定を行う前に、必ずコントローラと通信補助器のペアリング設定をしてください。



※ ペアリング設定せずにコントローラを操作しても、通信補助器が電波を中継しないため、照明器具を制御することはできません。

※引き続き、以下の設定を各種コントローラの取扱説明書を参照して必ず行ってください。

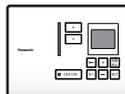
- ・コントローラと照明器具のペアリング設定
(このとき、通信補助器は電源を入れた状態で行ってください)
- ・その他コントローラの各種設定

組合せA

PiPit
ハンディライコン
(NK23041)



コントローラ
(壁付け)



通信
補助器



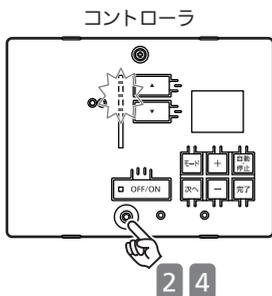
1 コントローラと通信補助器の通信確認

1 コントローラと通信補助器の電源を入れる

2 コントローラの化粧カバーを外し『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し通信確認状態にする

調光レベル表示灯の上3つが点滅し、信号を送信します。
※10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

3 通信補助器が、コントローラの電波を受信し、LED赤が点滅します。点滅回数によって電波の強さを確認してください。



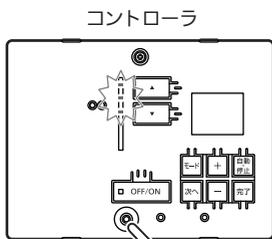
LED赤は何回点滅を繰り返しますか？

- 7回～5回 → 設定位置に問題はありません。
- 4回～2回 → 環境の変化により通信ができなくなる可能性があります。5回以上点滅する場所に通信補助器の設置位置を変更することをお勧めします。
- 点滅なし → 5回以上点滅する場所に通信補助器の設置位置を変更してください。

4 コントローラの『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し通信確認を終了する

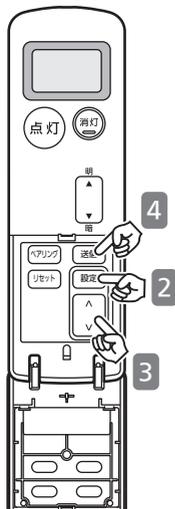
調光レベル表示灯の上3つの点滅が終了します。

2 コントローラと通信補助器のペアリング設定



1 5

PiPitハンディライコン



(フタを開けた状態)

- 1** コントローラの化粧カバーを外し『設定ボタン』を長押し (5秒以上) しペアリング設定状態にする

調光レベル表示灯の上3つが点滅し、信号を送信します。
※10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

- 2** PiPitハンディライコンのフタを開け『設定ボタン』を押しアドレス・設定画面を選択する



- 3** 『上下ボタン』を押しアドレスを選択する
アドレス「1」～「6」が選択できます。

- 4** 通信補助器に向け『送信ボタン』を押しペアリングする

ペアリングが成功した場合	ペアリングに失敗した場合
ピッ、ピビー と成功音が鳴ります。	ピッ、ピビビビ とエラー音が鳴ります。

通信補助器が複数ある場合

3 4 を繰り返して全ての通信補助器のペアリング設定を行ってください。その際、**3** でアドレス「1」～「6」を選択しアドレスが重複しないように各通信補助器のペアリング設定を行ってください。
※アドレスが重複している場合、正しく電波を中継できない場合があります。

- 5** コントローラの『設定ボタン』を長押し (5秒以上) しペアリング設定を終了する

調光レベル表示灯の上3つの点滅が終了します。



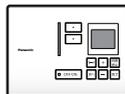
※引き続き各種コントローラの設定を行ってください。
(各種コントローラ取扱説明書参照)

組合せB

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)



コントローラ
(壁付け)



通信
補助器



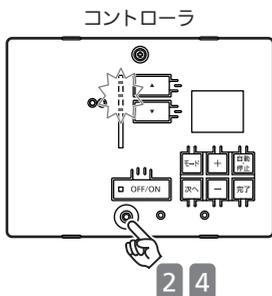
1 コントローラと通信補助器の通信確認

1 コントローラと通信補助器の電源を入れる

2 コントローラの化粧カバーを外し『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し通信確認状態にする

調光レベル表示灯の上3つが点滅し、信号を送信します。
※10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

3 通信補助器が、コントローラの電波を受信し、LED赤が点滅します。点滅回数によって電波の強さを確認してください。



強い：7回点滅を繰り返し
⋮
弱い：2回点滅を繰り返し

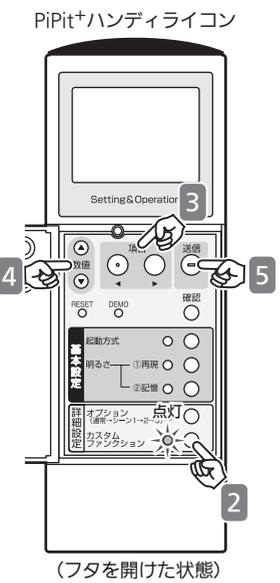
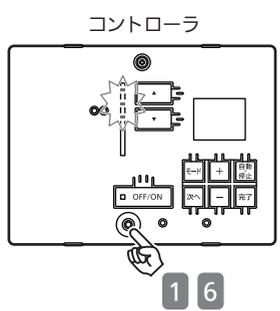
LED赤は何回点滅を繰り返しますか？

- 7回～5回 → 設定位置に問題はありません。
- 4回～2回 → 環境の変化により通信ができなくなる可能性があります。5回以上点滅する場所に通信補助器の設置位置を変更することをお勧めします。
- 点滅なし → 5回以上点滅する場所に通信補助器の設置位置を変更してください。

4 コントローラの『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し通信確認を終了する

調光レベル表示灯の上3つの点滅が終了します。

2 コントローラと通信補助器のペアリング設定



- 1 コントローラの化粧カバーを外し『設定ボタン』を長押し（5秒以上）しペアリング設定状態にする
調光レベル表示灯の上3つが点滅し、信号を送信します。
※10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

- 2 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す

- 3 『項目ボタン』を押し「19」を選択する

- 4 『数値ボタン』を押し「001」を選択する
アドレス「001」～「006」が選択できます。

- 5 通信補助器に向け『送信ボタン』を押しペアリングする

ペアリング成功した場合	ペアリングに失敗した場合
ピッ、ピビー と成功音が鳴ります。	ピッ、ピビビビ とエラー音が鳴ります。

- 6 コントローラの『設定ボタン』を長押し（5秒以上）しペアリング設定を終了する
調光レベル表示灯の上3つの点滅が終了します。

↓

※引き続き各種コントローラの設定を行ってください。
(各種コントローラの取扱説明書参照)

組合せC

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)



コントローラ
(天井付け)



通信
補助器



1 コントローラと通信補助器の通信確認

1 コントローラと通信補助器の電源を入れる

2 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す

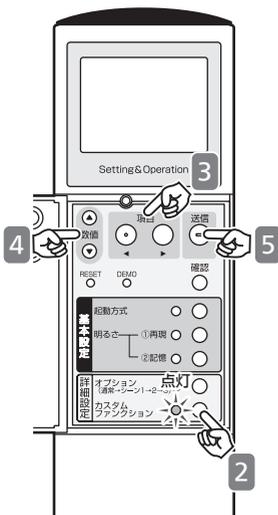
3 『項目ボタン』を押し「02」を選択する



4 『数値ボタン』を押し「1」を選択する

5 コントローラに向け『送信ボタン』を押し通信確認状態にする

PiPit+ハンディライコン

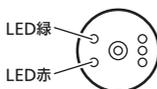


(フタを開けた状態)



通信確認状態中は、LED赤・緑が点滅します。
※ペアリング設定状態は10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

6 通信補助器が、コントローラの電波を受信し、LED赤が点滅します。点滅回数によって電波の強さを確認してください。



強い：7回点滅を繰り返し
.....
弱い：2回点滅を繰り返し

LED赤は何回点滅を繰り返しますか？

- 7回～5回 → 設定位置に問題はありません。
- 4回～2回 → 環境の変化により通信ができなくなる可能性があります。5回以上点滅する場所に通信補助器の設置位置を変更することをお勧めします。
- 点滅なし → 5回以上点滅する場所に通信補助器の設置位置を変更してください。

7 PiPit+ハンディライコンのフタを閉じてコントローラに向け『自動ボタン』を押し通信確認を終了する



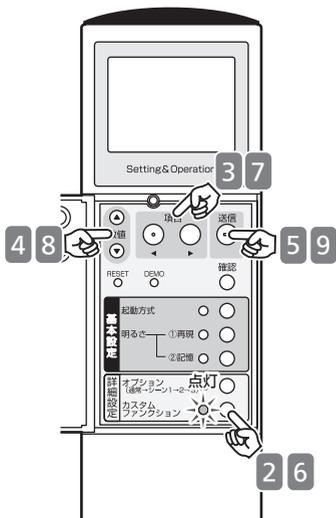
コントローラのLED赤・緑点滅が終了します。



(フタを閉めた状態)

2 コントローラと通信補助器のペアリング設定

PiPit+ハンディライコン



(フタを開けた状態)



(フタを閉めた状態)

- 1 コントローラと通信補助器の電源を入れる
- 2 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す
- 3 『項目ボタン』を押し「02」を選択する
- 4 『数値ボタン』を押し「1」を選択する
- 5 コントローラ向け『送信ボタン』を押しペアリング設定状態にする



ペアリング設定状態中は、LED赤・緑が点滅します。
※ペアリング設定状態は10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

- 6 フタを開けた状態で『カスタムファンクションボタン』を押す
- 7 『項目ボタン』を押し「19」を選択する
- 8 『数値ボタン』を押し「001」を選択する
アドレス「001」～「006」が選択できます。

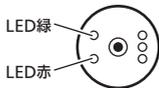
- 9 通信補助器向け『送信ボタン』を押しペアリングする

ペアリング成功した場合	ペアリングに失敗した場合
ピッ、ピピー と成功音が鳴ります。 ○	ピッ、ピピピピ とエラー音が鳴ります。 ✕

通信補助器が複数ある場合

8 9 を繰り返し全ての通信補助器のペアリング設定を行ってください。その際、8 でアドレス「001」～「006」を選択しアドレスが重複しないように各通信補助器のペアリング設定を行ってください。
※アドレスが重複している場合、正しく電波を中継できない場合があります。

- 10 PiPit+ハンディライコンのフタを閉じてコントローラ向け『自動ボタン』を押し、ペアリング設定を終了する



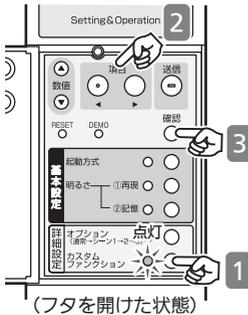
コントローラのLED赤・緑点滅が終了します。

※引き続き各種コントローラの設定を行ってください。
(各種コントローラの取扱説明書参照)

通信補助器のアドレスを確認する

通信補助器が複数ある場合、通信補助器のアドレスが重複しないように設定する必要があります。PiPit+ハンディライコン（NK23091）でアドレスを確認できます。ただし、PiPitハンディライコン（NK23041）の場合は、通信補助器のアドレスを確認することはできません。

PiPit+ハンディライコン
(NK23091)



- 1 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す
- 2 『項目ボタン』を押し「19」を選択する

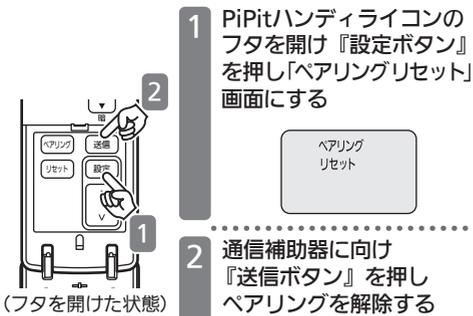


- 3 通信補助器に向け『確認ボタン』を押す
通信補助器のアドレス「001」～「006」が画面に表示されます。

通信補助器のペアリングを解除する

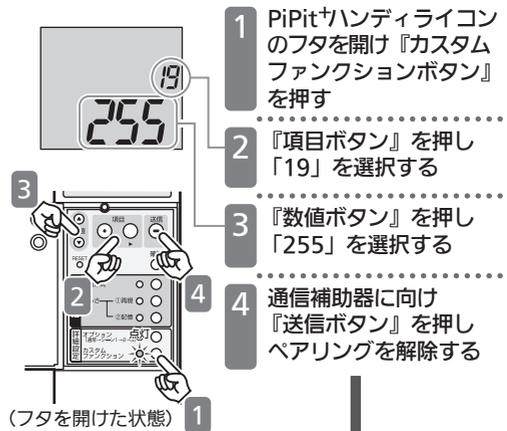
通信補助器のアドレスが重複してしまった場合や別のコントローラとペアリング設定をやり直す場合など、以下の手順で、コントローラと通信補助器のペアリングを解除してください。

■ PiPitハンディライコンの場合



- 1 PiPitハンディライコンのフタを開け『設定ボタン』を押し「ペアリングリセット」画面にする
- 2 通信補助器に向け『送信ボタン』を押しペアリングを解除する

■ PiPit+ハンディライコンの場合



- 1 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す
- 2 『項目ボタン』を押し「19」を選択する
- 3 『数値ボタン』を押し「255」を選択する
- 4 通信補助器に向け『送信ボタン』を押しペアリングを解除する

通信補助器のペアリングを解除すると、通信補助器は工場出荷状態になります。

困ったとき

こんなとき	考えられる原因	対処方法
コントローラと通信補助器のペアリングに失敗する	コントローラの電源が入っていない	コントローラの電源を入れてください。
	通信補助器の電源が入っていない	通信補助器の電源を入れてください。
	ハンディライコンの電池が消耗している	ハンディライコンの電池を交換してください。
	ハンディライコンの操作範囲外で操作している	通信補助器の直下から操作してください。
	コントローラをペアリング設定状態にしていない	本取扱説明書に記載している内容をもう一度確認し、再度設定してください。
コントローラと通信補助器のペアリングに成功したが調光動作しない	照明器具の電源が入っていない	照明器具の電源を入れてください。
	コントローラと照明器具のペアリング設定を実施していない	コントローラの取扱説明書を参照し、ペアリング設定を行ってください。

よくある質問

Q1 通信補助器同士をペアリングすることはできますか？

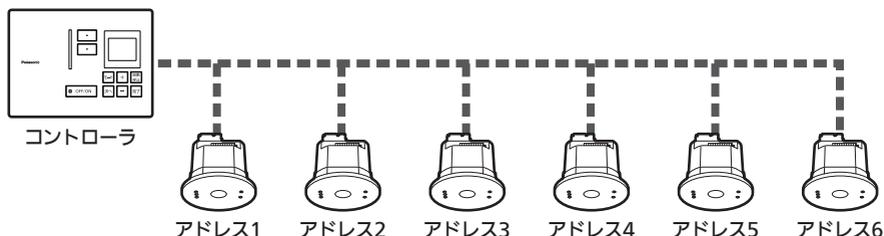
- できません。通信補助器はコントローラとのみペアリングできます。



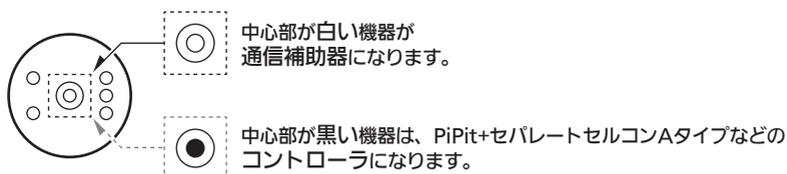
Q2 コントローラ1台に何台まで通信補助器をペアリングできますか？

- 最大6台までペアリングできます。複数台ペアリングする場合は、通信補助器のアドレスが重複しないようにペアリングしてください。

例：最大6台ペアリングさせる場合



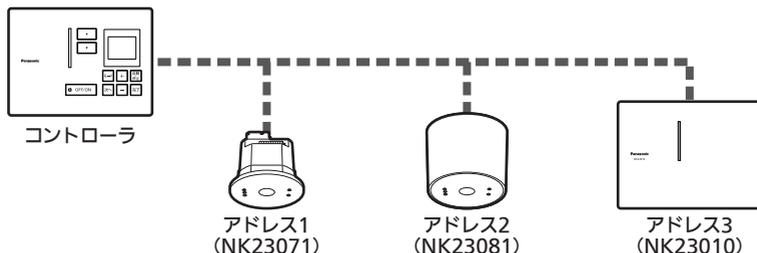
Q3 通信補助器とコントローラとの見分け方を教えてください。



Q4 コントローラに異なる品番の通信補助器を混在してペアリングできますか？

- できます。各通信補助器の取扱説明書を参考に、通信補助器のアドレスが重複しないようにペアリングしてください。

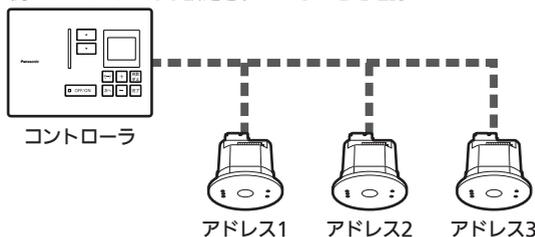
例：NK23071、NK23081、NK23010が混在する場合



Q5 照明器具と通信補助器を新たに追加する場合どのような手順で設定すれば良いですか？

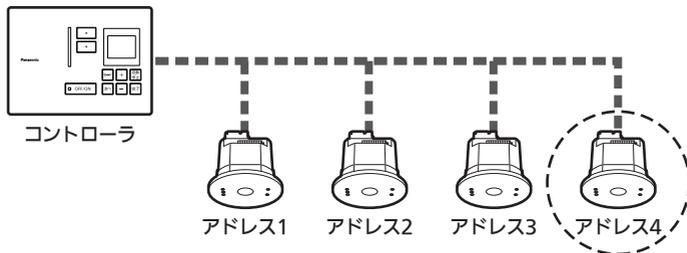
- ① すでにコントローラとペアリングされている通信補助器のアドレスを確認する (P12参照)

例：アドレス1～3が設定されていることを確認



- ② 新たに追加する通信補助器について本取扱説明書を参考にアドレスが重複しないようにペアリングする

例：追加した通信補助器にアドレス4を設定してペアリングする



- ③ コントローラの取扱説明書を参考に、コントローラと照明器具のペアリングを行う

Q6 通信確認やペアリング設定後もLED赤が点滅しているが、どのような状態ですか？

- 正常動作中を示します。なお、電波の受信状況により不定期にLED赤が点滅します。

お手入れについて

表面の汚れは、やわらかい布で拭きとってください。水や洗剤は使わないでください。水気が機器に浸入すると故障の原因となります。また、色落ち・キズなどの原因となりますので、硬い布やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。

安全点検について

下記の「安全チェックシート」の各項目について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は、10年以上である。	B	
	使用期間は、15年以上である。	A	
	累積使用時間は、40,000時間以上である。	A	
	器具の使用温度が高い。	B	
	電源電圧が高い、または低い。(定格の106%以上、94%以下)	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は、0.2MΩ以下(200V)または0.1MΩ以下(100V)である。	A	
	取付部に常時振動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
通信補助器	使用場所に腐食性ガス(温泉・塩害を含む)、じんあいが多い。	B	
	本体・パネルなどが手で触れないくらい熱くなる。(60℃以上)	A	
	本体・パネルなどに変形・ひび割れなどがある。	A	
	めっき面などに、ふくれ・剥離などがある。またはさびが出ている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	可動部分(電源スイッチ・ボリュームなど)の動きが鈍い。	B	
	電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A	
電線接続部(端子台など)が接触不良(緩み、抜けなど)を起こしている。	A		

【点検結果の判定】

- ・区分Aの○印が1個でもあれば、調査した通信補助器は劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。速やかに交換してください。
- ・区分Bの○印が1個でもあれば、調査した通信補助器は劣化状態が進行していることがあります。交換または継続的に点検してください。

上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。

仕様

	NK23071	NK23081
定格電力	AC100~242V (50/60Hz)	
使用温度範囲	0~35℃	-10~40℃
制御方式	無線通信 (中心周波数927.2MHz)	
通信距離	見通し距離20m	見通し距離20m (高天井器具の場合35m)
適合負荷	当社製PiPit調光シリーズLED器具 (起動方式: RZ)	
適合ハンディライコン	PiPit ⁺ ハンディライコン (PiPitハンディライコンは再生機能のみ)	

無線通信 (電波) に関して

- ・ 本器には認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- ・ この920MHz帯特定小電力無線設備は分解・改造することは法律で禁じられています。
- ・ この920MHz帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。